

## モンゴル・ウランバートル市職員の短期研修について

2014年10月14日～24日の2週間にわたり、モンゴル・ウランバートル市役所から環境関連職員7名が、生命環境科学研究科環境科学専攻・持続環境学専攻を訪問し、当専攻の英語教育プログラムであるSUSTEP (Sustainability Science, Technology and Policy) Program の取組の一環として、「大気汚染、土壌汚染、環境政策」に関する短期研修を受講しました。

本SUSTEP短期研修は、辻村・持続環境学専攻長が本年8月にウランバートル市において専攻修了生のフォローアップ・セミナーを開催した際に、ウランバートル市役所を表敬訪問し、その席上で副市長から市職員の教育に関して要請があり、それを受ける形で実現したものです。

7名の研修生は、ウランバートル市の森林・土地景観部、環境・自然資源部、工業部等に所属している若手職員で、松井准教授・SUSTEP委員長のオーガナイズにより、「環境政策評価論」、「大気汚染」、「環境微生物学」、「生物浄化学概論」、「環境外交とリーダーシップ」、「環境倫理学」等、幅広い講義を受けるとともに、国連大学、つくば市環境生活部、国立環境研究所・大気汚染学連携大学院講座等の環境関連機関、自治体を視察しました。

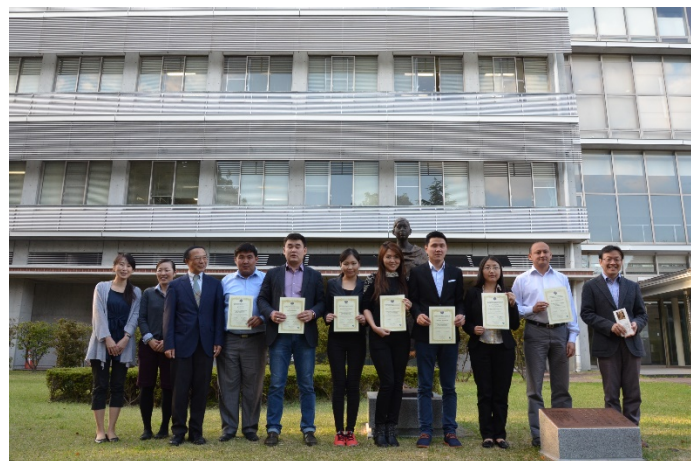
最終日には、SUSTEP短期研修の修了式が行われ、濱・環境科学専攻長から一人一人に修了証が手渡されました。



国立環境研で大気汚染観測システムの説明を受ける研修生



濱専攻長から修了証を授与される研修生



生命環境系モニュメント前での記念撮影